

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 7 部門第 1 区分  
【発行日】令和 6 年 10 月 21 日(2024.10.21)

【公開番号】特開 2024-144736(P2024-144736A)  
【公開日】令和 6 年 10 月 11 日(2024.10.11)  
【年通号数】公開公報(特許)2024-191  
【出願番号】特願 2024-129888(P2024-129888)  
【国際特許分類】

H 0 1 R 13/6581(2011.01)

10

【F I】

H 0 1 R 13/6581

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 10 月 4 日(2024.10.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 信号導体を有する第 1 ケーブルと、第 2 信号導体を有する第 2 ケーブルとに接続されるコネクタであって、

前記第 1 ケーブルの外周及び前記第 2 ケーブルの外周に対向する対向面を有するコネクタベースと、

前記第 1 信号導体に接続される導電性の第 1 信号コンタクトと、

前記対向面に平行な配列方向に沿って前記第 1 信号コンタクトと並び、第 2 信号導体に接続される導電性の第 2 信号コンタクトと、

前記コネクタベースに保持され、前記第 1 信号コンタクトを保持する絶縁性の第 1 ハウジングと、

30

前記コネクタベースに保持され、前記第 2 信号コンタクトを保持する絶縁性の第 2 ハウジングと、を有するベースユニットと、

前記配列方向に垂直な直交方向に沿った軸線まわりに前記第 1 ハウジングを包囲するように前記コネクタベースに固定される導電性の第 1 シェルと、

前記直交方向に沿った軸線まわりに前記第 2 ハウジングを包囲するように前記コネクタベースに固定される導電性の第 2 シェルと、を備え、

前記コネクタベースは、

前記対向面に沿った導電性のベースプレートと、

前記ベースプレートと、前記第 1 ハウジングと、前記第 2 ハウジングとを保持する絶縁性のベースハウジングとを有し、

40

前記ベースプレートは、前記第 1 シェルと前記第 2 シェルとを電氣的に接続し、

前記第 1 シェルは、

前記配列方向に沿って互いに対向する一対の第 1 側壁部と、

前記一対の第 1 側壁部を連結する第 1 連結壁部と、を有し、

前記一対の第 1 側壁部と、前記第 1 連結壁部と、前記ベースプレートとによって前記第 1 ケーブルを包囲し、

前記第 2 シェルは、

前記配列方向に沿って互いに対向する一対の第 2 側壁部と、

前記一対の第 2 側壁部を連結する第 2 連結壁部と、を有し、

50

前記一対の第 2 側壁部と、前記第 2 連結壁部と、前記ベースプレートとによって前記第 2 ケーブルを包囲する、コネクタ。

【請求項 2】

前記第 1 シェル及び前記第 2 シェルが固定された前記コネクタベースを収容する絶縁性の OUTERハウジングを更に備える、請求項 1 記載のコネクタ。

【請求項 3】

前記 OUTERハウジングは、前記直交方向に垂直な前壁部を有し、  
前記前壁部は、前記配列方向に並び互いに仕切られた第 1 開口及び第 2 開口を有し、  
前記第 1 ハウジングは、前記第 1 シェルに包囲された状態で、前記第 1 開口を経て前記 OUTERハウジングから突出し、  
前記第 2 ハウジングは、前記第 2 シェルに包囲された状態で、前記第 2 開口を経て前記 OUTERハウジングから突出する、請求項 2 記載のコネクタ。

10

【請求項 4】

前記 OUTERハウジングに固定され、前記第 1 ケーブルと前記第 2 ケーブルとの間隔を規制する絶縁性のセパレータを更に備え、  
前記コネクタベースは、前記前壁部と前記セパレータとの間に配置される、請求項 3 記載のコネクタ。

【請求項 5】

前記第 1 信号コンタクトは、前記第 1 信号導体に接続される第 1 接続部と、相手コネクタの相手第 1 信号コンタクトに接触する第 1 接触部と、を有し、  
前記第 2 信号コンタクトは、前記第 2 信号導体に接続される第 2 接続部と、前記相手コネクタの相手第 2 信号コンタクトに接触する第 2 接触部と、を有し、  
前記第 1 ハウジングは、前記第 1 連結壁部に向かって前記第 1 接続部を露出させ、前記第 1 連結壁部に向かう方向の反対に向かって前記第 1 接触部を露出させるように、前記第 1 信号コンタクトを保持し、  
前記第 2 ハウジングは、前記第 2 連結壁部に向かって前記第 2 接続部を露出させ、前記第 2 連結壁部に向かう方向の反対に向かって前記第 2 接触部を露出させるように、前記第 2 信号コンタクトを保持する、請求項 1～4 のいずれか一項記載のコネクタ。

20

【請求項 6】

前記第 1 シェルは、外力の付与によって前記第 1 ハウジングに近付き、前記外力の除去によって前記第 1 ハウジングから離れる第 1 弾性接触部を有し、  
前記第 2 シェルは、外力の付与によって前記第 2 ハウジングに近付き、前記外力の除去によって前記第 2 ハウジングから離れる第 2 弾性接触部を有する、請求項 1～5 のいずれか一項記載のコネクタ。

30

【請求項 7】

前記一対の第 1 側壁部のそれぞれが前記第 1 弾性接触部を有し、  
前記一対の第 2 側壁部のそれぞれが前記第 2 弾性接触部を有する、請求項 6 記載のコネクタ。

【請求項 8】

前記第 1 ケーブルは、前記第 1 信号導体を包囲する第 1 外部導体を更に有し、前記第 2 ケーブルは、前記第 2 信号導体を包囲する第 2 外部導体を更に有し、  
前記ベースプレートは、前記第 1 外部導体に対応する第 1 固定孔と、前記第 2 外部導体に対応する第 2 固定孔とを有する、請求項 1～7 のいずれか一項記載のコネクタ。

40

【請求項 9】

前記ベースプレートは、前記一対の第 1 側壁部にそれぞれ対応する一対の第 1 シェル固定孔と、前記一対の第 2 側壁部にそれぞれ対応する一対の第 2 シェル固定孔とを有し、  
前記一対の第 1 側壁部のそれぞれは、対応する第 1 シェル固定孔に挿入される第 1 固定片を有し、  
前記一対の第 2 側壁部のそれぞれは、対応する第 2 シェル固定孔に挿入される第 2 固定片を有し、

50

前記第 1 固定孔は前記一対の第 1 シェル固定孔の間に位置し、前記第 2 固定孔は前記一対の第 2 シェル固定孔の間に位置する、請求項 8 記載のコネクタ。

10

20

30

40

50